



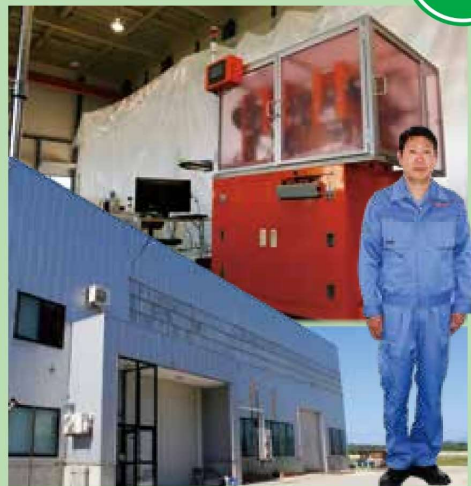
宮腰精機株式会社（宮腰亨代表取締役社長）は印刷産業機械の大手製造メーカー・株式会社ミヤコシのグループ企業として1981（昭和56）年に旧太田町で操業を開始しました。

現在、市内の3カ所に工場を構え、主に業務用印刷機を製造している同社。その中で、業務用印刷機ではなく、各種検査装置や、さまざまな自動化装置などの設計・製造に取り組んでいるのが、西仙北地域にある同社の北野目工場です。

同社が現在力を入れているのが航空機用の電気モーターの部品開発。航空機産業への参入を目指し、同社を含む県内の製造

業3社で航空機に使われる高性能な電気モーターの「試作組合」を2018（平成30）年に結成しました。必要な装置や部品を各社で供給し、2023（令和5）年度の製品化を目指しています。

同社が設計・製造する自動化装置は、精密で複雑な作業を行うことができるAI（人工知能）搭載型多軸ロボットシステムなどで、自動車部品の製造工場をはじめとする、さまざまな分野の製造ラインのコスト削減と品質安定に貢献しています。「いずれは汎用性の高い自動化装置を開発し、宮腰ブランドとして全国展開していきたい」と天川工場長は意気込みます。



ものづくりの自動化に貢献

宮腰精機株式会社北野目工場〔西仙北〕

業種／自動化装置・検査装置などの設計・製造
従業員数／10人

★今回の案内人は執行役員で北野目工場長の天川靖宏さんです。